

単元名 文字の大きさ(漢字と平仮名)

配当時間

2時間

単元の目標 (1) 漢字と平仮名の大きさの違いを理解し、配列を整えて書くことができる。
(2) 配列を整えて書くために気を付ける点を見いだすことができる。
(3) 漢字と平仮名の大きさに気を付けて書こうとしている。

標準的な展開例

05020202_001

【教材名】『登る』(毛筆) (P.24～P.25)

【準備等】練習用紙(かご字のあるもの・ないもの), まとめ用紙

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 漢字と平仮名の大きさに気を付けて、『登る』を書く。 ★漢字と平仮名の大きさに気を付けて書こう ○『登る』を毛筆で試し書きする。</p> <p>○試し書きと教科書とを比較して、気を付ける点を考える</p> <p>○漢字と平仮名の大きさに気を付けて練習する。</p> <p>○『登る』をまとめ書きして、自己評価・相互評価をする</p> <p>2 漢字と平仮名の大きさとともに、配列も意識して書く。 ★漢字と平仮名の大きさや配列を考えて書こう ○前時のまとめ書きから、自分の課題を見いだす。</p> <p>○配列を整えて書くために気を付けることを話し合う。</p> <p>○配列にも留意して、『登る』を練習する。</p> <p>○『登る』をまとめ書きし、自己評価・相互評価する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・筆順を確認してから、教科書は見ずに書かせる。 ・教科書の文字をそれぞれ鉛筆で囲むなどして漢字に対して平仮名は小さく書くことを理解させる。 ・漢字と平仮名を同じ大きさに書いたものと並べて比較すると、より分かりやすい。 ・かご字のあるものとないもの2種類のワークシートを用意しておき、児童の実態に合わせて活用する。 【評】教材の練習を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・隣席同士で、教科書・試し書き・まとめ書きを比較し、互いの向上した点を見付けさせる ・特に、文字の大きさに着目させる。 ・前時のまとめ書きを見直し、本時に特に力を入れたい点を課題として取り組むことを伝える。 ・前時に学習した文字の大きさの他に、中心や余白、「はつがしら」の筆順などについても着目させる。 ・文鎮の置き方についても自分なりに工夫させるとよい。 【評】話し合いを通して、配列に関する「思考・判断・表現」を評価する。 ・前時に活用したかご字のある練習用紙を活用する。 ・書く前に鉛筆で大枠を取るなど、各自で工夫させるのもよい。 ・隣席同士で教科書・試し書き・まとめ書きを比較して、互いのよくなった点を見付けさせる。 【評】まとめ書きを通して、文字の大きさや配列に関する「知識・技能」を評価する。

【 備 考 】